

第36回法人会全国大会三重大会に参加

令和元年10月3日(木)、第36回法人会全国大会が三重県津市(津市産業・スポーツセンター)で開催され全国の法人会から約1800名の方が参加されました。会場となったサオリーナはレスリング女子でオリンピック金メダリストの吉田沙保里選手から命名されたアリーナで、メッセウイングみえ、武道館など複合施設が建つ素晴らしい会場でした。

第1部では、伊勢神宮広報室広報課長の音羽悟氏による「皇室と神宮」という演題で記念講演がありました。今回の講演は『神宮は、皇室の御祖先神天照大御神をお祀り申しあげ、その伊勢の地への御鎮座は、第十一代垂仁天皇の御代に遡ります。それより約二千年の永きにわたり、神勅にしたがって途絶えることなく、伊勢では日々のお祭りによって皇室の御安寧と日本の国の弥栄、五穀豊穰などをお祈り申しあげ、また、歴代天皇も、日々神宮への遙拝を欠かされることなくお続けあそばされてまいりました。この度の御大礼に際しても、皇居から神宮へ、節目ごとに勅使を御差遣になり幣帛を奉られ、神宮でも大御饗を奉り折々にお祭りを執り行います。また、大嘗祭を終えられた後、天皇皇后両陛下には伊勢の大宮地へ御親謁あそばされる予定となっています。』というお話でした。

第2部の式典では全法連小林会長が主催者を代表して私たち法人会は、「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、税制に関する建設的な提言や子供達への租税教育など、「税」を中心とした公益的な幅広い活動を全国的に展開しております。と挨拶しました。その後「令和2年度税制改正に関する提言」の報告、石川県・金沢法人会青年部会による租税教育活動の事例発表が行われ、租税教室をもっと学校から家庭へ地域へとステップアップしようと言う試みが披露されました。最後に、次回開催地である岩手県連会長がプロモーションビデオを紹介し、閉会の言葉を述べました。

第3部の懇親会は伊勢市での宿泊の為、参加しませんでした。

翌日は伊勢神宮の外宮、内宮を参拝し、内宮神楽殿にて佐竹顧問のご配慮で雅楽の調べと共に雅な舞を奉納するご祈禱を受けて参りました。

令和2年度税制改正スローガン

- 経済の再生と財政健全化を目指し、
歳出・歳入の一体的改革を!
- 適正な負担と給付の重点化・効率化で、
持続可能な社会保障制度の確立を!
- 中小企業は日本経済の礎。
活力向上のための税制措置拡充を!
- 中小企業にとって事業承継は重要な課題。
本格的な事業承継税制の創設を!

